



～三河保育園～

# 議会だより や め

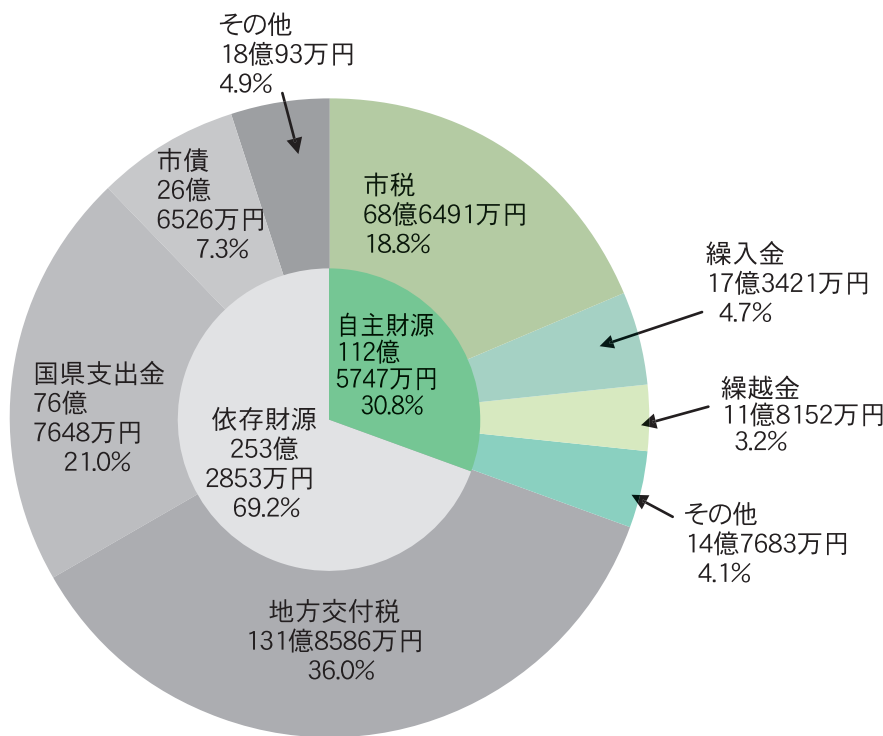
No.158 平成29年11月1日

- P2-3 **予算は適正に使われたか** ～28年度決算～
- P 8 **ここが聞きたい!** 一般質問 **9人** の議員が登壇
- P 15 **調査研修を行いました** ～調査報告～
- P 17 **11月に議会報告会を開催します**

# 使われたか

## 一般会計 決算認定

歳入  
365億8600万円



## 9月定例会

9月定例会を8月30日から9月21日まで23日間の会期で開催しました。市長職務代理者より提案された議案は、5億8622万円を追加する一般会計補正予算、条例案など議案11件と平成28年度決算認定（一般会計、特別会計、水道事業会計）が提案され、いずれも原案どおり可決・認定しました。

一般質問は、9人の議員が登壇し、市政全般にわたり質問しました。

平成28年度の各会計の決算について、決算審査特別委員会を設置し、各担当課からの説明を受けて詳細に審査を実施しました。

その結果、適正に予算が執行されていることを確認し、委員会意見を付し認定しました。

### 決算の概要

平成28年度の一般会計決算額は、歳入で365億8600万円、歳出で353億3726万円、差し引き12億4874万円となります。これから翌年度へ繰り越した事業にあてる財源6004万円を差し引き、実質収支で11億8870万円の黒字決算となりました。

### 歳入

歳入の内訳の主なものをみると、市税が、歳入全体の18.8%にあたる68億6491万円、地方交付税は36.0%にあたる131億8586万円、

国県支出金は、21.0%にあたる76億7648万円、自主財源が

# 予算は適正に

## 平成28年度の主な事業

### ○星野地域振興事業

3億9647万円

星の文化館・茶の文化館の施設及び展示物のリニューアルを行うことにより地域イメージの向上とさらなる観光入込客の増加を図った。



### ○雇用促進住宅改修事業

2億7999万円

蒲原住宅南棟の改修工事を行い、老朽化住宅の住替え及び新婚・子育て世帯の住居の確保ができた。



### ○子ども・子育て支援事業

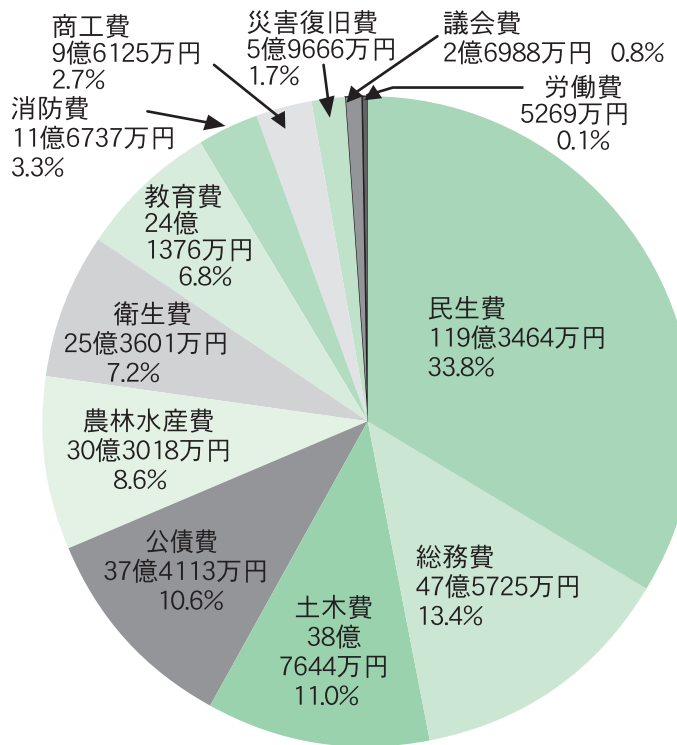
17億2211万円

幼稚園、認定こども園、保育所及び小規模保育園において就学前子どもに対する教育・保育の提供を行い、就労等する保護者の支援に寄与することができた。各施設に対しては給付費の支給と一時預かり事業等に対する補助金を交付した。また、保育料については、低所得者層に対し、多子軽減措置の拡充を行い、負担軽減を図ることができた。この他、保育料納付のコンビ二収納を開始した。

## 平成28年度

### 歳出

353億3726万円



歳出の内訳の主なものを目的別にみると、民生費が最も高く119億3464万円となっており、全体の33.8%を占めています。主な事業として、しょうがい者の自立支援給付事業、子ども・子育て支援事業等です。続いて、総務費が13.4%にあたる47億5725万円、土木費が11.0%にあたる38億7644万円となっており、全体の33.8%を占めています。

### 歳出

# 議会から市へ提言

## ～決算審査特別委員会～

認定第1号

平成28年度八女市各会計歳入歳出決算認定について

決算を認定するにあたり、指摘・要望等を市に提言しました。

### 一般会計

①スクールソーシャルワーカー等による教育相談が実施されているが、

重い発信であり、市民一人ひとりが健康に対する意識を高め、積極的に健康診査を受ける環境づくりを、全庁挙げて構築していただきたい。

また、健康づくりフェスタについては、「健康の日」を設定するなど毎年開催することで、市民の健康増進に一役を担える事業にしてください。

また、健康づくりフェスタについては、「健康の日」を設定するなど毎年開催することで、市民の健康増進に一役を担える事業にしてください。

相談件数等の年間統計資料が作成されていない。

また、健康づくりフェスタについては、「健康の日」を設定するなど毎年開催することで、市民の健康増進に一役を担える事業にしてください。

④乳幼児・子ども医療制度については、国保の減額調整措置を勘案した上で、独自の助成制度に対しては大いに評価できるが、中学生の通院に係る医療費の助成まで拡大すること、子育て支援の更なる充実を図られたい。

児童教育の段階的無償化に先駆け、早期の無償化を実現するために、低所得者層から順次、更なる軽減を実施されたい。

会において統計資料を作成され、相談状況を的確に把握されるよう指摘する。

③地域福祉の担い手として中心的な役割を果たしている民生委員・児童委員の職務は、質・量とも年々増えており、地域によっては成り手不足も悩みの種となっている現状

⑤幼児教育の重要性を考え、子育て世代の経済的な負担軽減を目的に、保育料については、国の幼

②健康寿命の延伸を目指す「スポーツ・健康づくり都市宣言」は、極めて

⑤幼児教育の重要性を考え、子育て世代の経済的な負担軽減を目的に、保育料については、国の幼

保育料については、国の幼

### 決算審査特別委員会とは？

前年度の予算が議会の議決の趣旨に沿って適正に執行され、かつ行政効果及び住民サービス・住民福祉の向上にどのように役立ったかなど、目的の達成度を審査する特別委員会です。

この特別委員会は、議長及び議会選出監査委員を除く議員（24名）で構成され、分科会（各常任委員会）ごとに審査を行います。

# 一般会計補正予算

5億8622万3千円を追加  
歳入歳出予算総額371億7014万2千円

主な事業	補正額(千円)
地域密着型施設等整備補助金	21,790
荒廃森林整備工事費	23,683
消防団詰所建設工事費	11,000
体育施設営繕工事費	33,336

## 〈報告第7号〉 枯れ枝落下による 車両損害を賠償

【報告理由】

県道湯辺田瀬高線を走行中の車両に、市が管理する千間土居公園の大木の枯れ枝が落下直撃して

車両が損傷したため、損害賠償を専決処分(第5号)したことが報告されたものである。

**問** 損害賠償義務は、樹木の所有者である八女市が全部負うのか。道路管理者である福岡県にもその責任はないのか。

**答** 他の事例を参照の上、福岡県とも協議を行い、市が損害賠償することになった。

**問** 既に落下している枯れ枝等によって車両に損害を与えた場合の責任はどうか。

**答** ケースによって様々な場合があるので、一概にどうだとは言えない。

**問** 台風シーズンを迎える中で、樹木の倒壊や枝の落下などが心配される。支障があるような樹木の点検と除去はどうするか。

**答** 平成27年度に実施したが、今後も点検を実施し安全に努めたい。

**問** 山間地の道路は事故の可能性が高い。民有地についても道路沿いの樹木管理について周知・啓発すべきではないか。

**答** 今までも管理についてお願いしてきた。今後も管理のお願いを行いたい。

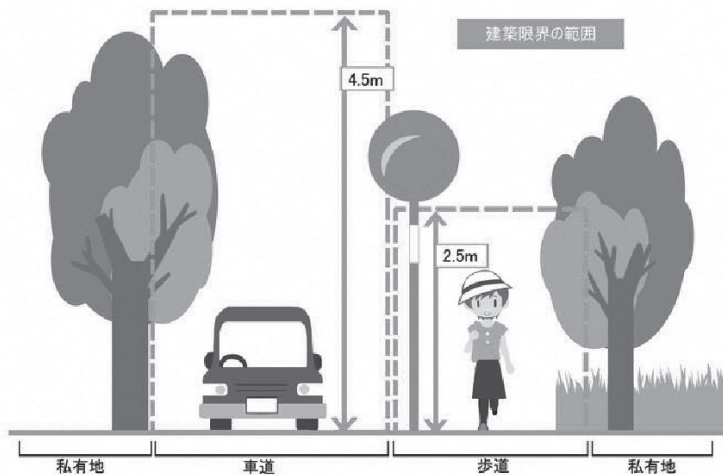
**問** 千間土居公園の大木の枝が伐採されて、景観を損ねているとの苦情もあるが、伐採の理由を広報等で周知・徹底できないか。

**答** 今後は伐採の理由を含め、周知を図っていきたい。

●自己所有の樹木等によって損害を与えた場合、賠償責任が発生する場合があります。建築限界(注1)を守って管理に努めましょう。

(注1) 建築限界とは  
交通の安全を確保するため、道路等において障害となる工作物や構築物の設置が許されない空間範囲をいう。

大型自動車の走行、走行中の自動車からの身体露呈などに対処するために道路構造令で規定されている。歩道についても円滑な通行を確保するために、建築限界が設けられている。



建築限界の範囲

厚生

審査の主なもの

- 平成29年度八女市一般会計補正予算(第2号)  
(全員賛成で可決)  
・社会福祉費(介護保険事業費) 2929万円
- 平成28年度八女市各会計歳入歳出決算認定  
(全員賛成で認定)

総務文教

審査の主なもの

- 平成29年度八女市一般会計補正予算(第2号)  
(賛成多数で可決)  
・総務管理費 2199万2千円  
・消防費 1566万6千円  
・保健体育費 3333万6千円
- 平成28年度八女市各会計歳入歳出決算認定  
(賛成多数で認定)

九州北部豪雨に伴う災害見舞金について

**問** 朝倉市へ300万円、東峰村へ100万円に決めているが日田市へはなかったのか。

**答** 近隣の自治体である筑後市、みやま市及び柳川市の動向を見て、福岡県内で特に被害が大きかった朝倉市と東峰村に決定した。

**財産管理費の工事請負費について**

**問** 普通財産管理費の内容は。

**答** 旧横山小学校の校舎及び体育館の一部の雨漏り補修工事である。

**問** 旧学校施設遊具撤去工事の内容は。

**答** 旧上辺春小学校と旧下辺春小学校の使用されていない遊具の撤去工事である。

**決算審査の中から**

**問** ファインシヤルプランナーによる収納効果は。

**答** 平成28年度の相談件数は86件。消費者金融への過払い金の返還請求により約850万円の返還があった。また、相談者からの市税等の納付が約1280万円あった。この相談により市民の安定した生活や税収増額に効果が出ている。

有料老人ホーム2施設に防火設備を設置

**有料老人ホーム「かがやき工房ステーション」にスプリンクラーを設置する補助金と、「地域共生ホーム」にスプリンクラー・消火ポンプユニットを設置する補助金増額を計上した。**

**問** 対象の施設以外にスプリンクラーの設置が必要な施設は把握しているのか。また、補助は事業費の何割になるのか。

**答** 平成27年4月から義務付けられており、平成30年3月末までの経過措置が設けられている。今回が最後の設置であると把握している。事業費はつかめていないが、定額の補助のため、超えた分は事業所負担となる。

**平成28年度国民健康保険事業が黒字に!**

**問** 一般会計からの法定外

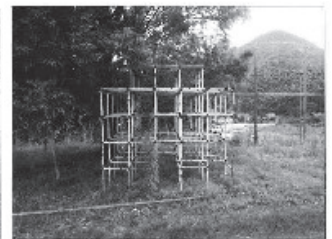
繰入を行わず、実質収支が黒字にできた要因は何か。

**答** 要因分析はこれからであるが、内的要因として、医療費の適正化、特定健診・がん検診の受診率向上、ジェネリック医薬品の利用拡大、保険料収納率向上について取り組んだ結果、それぞれ成果が上がったことを一因

と考えている。また、「スポーツ・健康づくり都市宣言」を行い健康づくりフェスタやチャレンジデーなどのイベントを庁内外の関連部署と連携して実施したことも要因の一つと考えている。



旧上辺春小学校すべり台



旧下辺春小学校ジャングルジム

# 議会の動き

## 8月

- 1日 建設経済常任委員会視察研修～3日
- 9日 全員協議会  
厚生常任委員会
- 22日 建設経済常任委員会  
八女市技建協会との意見交換会
- 23日 行政区長との意見交換会
- 25日 議会運営委員会  
男女が輝くネットワーク八女との意見交換会
- 28日 全員協議会
- 30日 平成29年第4回定例会(招集日)  
全員協議会

## 9月

- 4日 本会議(一般質問)～6日
- 5日 タブレット端末導入専門部会
- 6日 議会運営委員会
- 7日 本会議(議案審議)  
予算審査・決算審査特別委員会全体会議会だより編集委員会
- 11日 委員会・分科会～12日
- 19日 予算審査・決算審査特別委員会全体会議会報告会正副班長会
- 21日 平成29年第4回定例会(最終日)  
全員協議会

## 10月

- 2日 議会だより編集委員会視察研修～3日
- 3日 福岡県南市議会議長会
- 4日 全員協議会  
タブレット端末導入専門部会  
総務文教常任委員会  
厚生常任委員会  
公立八女総合病院企業団議会
- 5日 議会だより編集委員会
- 6日 会派制度検討委員会  
タブレット端末導入専門部会
- 12日 議会だより編集委員会
- 13日 建設経済常任委員会(現地調査)
- 17日 厚生常任委員会
- 18日 福岡県市議会議長会
- 19日 議会運営委員会視察研修～20日
- 23日 筑後6市議長会研修  
八女地区消防組合議会
- 30日 総務文教常任委員会

# 建設経済

## 審査の主なもの

- 八女市矢部地区山村滞在施設条例の制定について (賛成多数で可決)
- 平成29年度八女市一般会計補正予算(第2号) (全員賛成で可決)
  - ・農地費 2386万3千円
  - ・道路新設改良費 1億4600万円
  - ・公園費 1600万円
- 平成28年度八女市水道事業会計決算認定 (全員賛成で認定)

## 矢部地区の山村滞在施設条例を可決

**問** 都市との交流を通して地域の活性化を図るとあるが、地元との協力体制は進んでいるのか。

**答** 指定管理料はない方がいいが、指定管理者の考えで提示してもらい、協議をしていく。

**答** 公園内の北側にある東屋まで車椅子等でも行けるように整備をする予定である。

**答** 地域の中に調整会議を立ち上げ、自然体験、農業・林業体験を含め、お客様の希望するメニューを提供できるように考えている。

**問** 立花町田形地区のかんがい排水工事はいつ完了の予定なのか。

**答** 今年度内の完了を目指している。

**問** 指定管理料や納入金についてはどのように考えているのか。赤字では問題だと思ふが。

**問** 清水町公園のバリアフリー化とは、どういうことをするのか。

**答** 公園内の北側にある東屋まで車椅子等でも行けるように整備をする予定である。



矢部地区に建設中の山村滞在施設



# 一般質問

月 日	質問者	質問事項
9月4日 (月)	小川 栄一	1 「ひまわり園」の運営について
		2 平塚市営住宅について
	石橋 義博	1 飛形公園の現状と今後の展望並びに他の公園の現状について
		2 市職員の資質の向上への取組はどうか
	三角 真弓	1 今後の山地災害対策の強化に向けて
		2 防災対策と地域づくりについて
9月5日 (火)	森 茂生	1 国民健康保険について
		2 生活困窮者支援事業について
		3 安心安全なまちづくり
	田中 栄一	1 地域おこし協力隊の活動と将来について
	松崎 辰義	1 同和問題について
		2 災害対策について
3 環境問題について		
9月6日 (水)	高橋 信広	1 人口減少対策について
		2 八女市環境基本計画に基づく環境対策について
		3 子どもの貧困対策と連動した学習支援と子ども食堂について
	牛島 孝之	1 八女市の行政機構について
		2 八女市の文化財、古墳等の維持・保存について
		3 八女市の教育問題について
	樋口 安癸次	1 トンネルについて
		2 吉田の水門について



## 上妻校区に設置されている「ひまわり園」は、 どういう施設なのか

**答** DV、養育困難等で生活に支障がある母子の支援施設である



小川 栄一



八女市母子生活支援施設ひまわり園

- 問** ひまわり園の現状は。施設のショートステイ等要支援の母子世帯が600以上ある。9月1日現在、入園者が2世帯5人、一人は新生児である。
- 答** 当面は外観の修理等必要最小限で行い、国の答申が見えたところで、建て替え等を検討する。
- 問** 相談窓口として、何件の相談があるのか。
- 答** 相談が、今年度200件を超え、年度内に300件になると思う。
- 問** 運営費の負担は。
- 答** 国が1/2、県が1/4、市が1/4の割合である。平成26年度実績で市は800万円強の支出である。
- 問** 厚生省の新たな社会的養育の在り方に関する検討会が、小規模・高機能で地域に根差した介護
- 問** 厚生省の新たな社会的養育の在り方に関する検討会が、小規模・高機能で地域に根差した介護
- 問** 今後の整備予定は。
- 答** 平成29年度中に全て解体し、跡地は市営住宅等長寿命計画で現地建て替えてある。市営住宅管理戸数を精査しながら、慎重に検討しなければならぬと考えている。

- 問** 飛形公園の現状と今後の展望並びに他の公園の現状は。
- 答** 展望塔等の危険施設を撤去し、自然公園全体の見直しを地元関係者と協議しながら進め、市民に親しまれる公園にしたい。次に市内の他の公園、都市公園6ヶ所、市民公園13ヶ所についても、市民との協働による管理の充実を図り、利用者の利便性の向上に努めたい。
- 問** 市職員の資質の向上への取り組みについて
- 問** 市職員の資質の向上への取り組みはどうしているのか。



石橋 義博

- 答** 市職員の資質の向上は、人事行政の重要課題であり、八女市人材育成基本方針に基づき、職員の人材育成に努めている。また、さまざまな研修・教育を実施している。主なものは、内部研修として全職員研修、課題別研修、職場内研修等を行っている。また、外部
- 問** 市職員の資質の向上への派遣研修等も行い職員の資質向上と意識改革を図っている。
- 問** 市職員の挨拶等市民への対応についてはどのように接遇を指導しているのか。
- 答** 市民の方々には一歩踏み込んだ対応をするよう職員に指導している。



飛形公園の展望塔

**答**

地元関係者と協議しながら、親しまれる公園にしたい

飛形公園の現状と今後の展望並びに他の公園の現状について

# 今後、極端な降水が予測されるが 山地災害への対応は



三角 真弓



荒廃森林

**答** 荒廃森林を再生し、公益的機能を保全していく

**問** 平成24年災害に対して森林の復旧はどのよう  
に取組まれてきたか。

**答** 森林組合等による造  
林事業、適正な間伐、徐  
伐等で山林を保全。荒廃  
森林は県の環境税による  
再生事業に取組む。

**問** 林業振興の具体的施  
策は。

**答** 森林の適正管理の推  
進、施業コストの軽減、  
木材の有効利用による事  
業拡大が不可欠である。

**問** 本市の森林の保全に  
対して流域市町村との協  
議をやるべきではないか。  
**答** 矢部川改修期成同盟  
会があるので、県・国に

対して森林への支援を要  
請する。

**問** 今後の災害に備えて  
防災対策と地域づくりに  
ついて

**答** 今後の災害に備えて  
の地域づくりは、自助や  
共助でできる事をまず行  
い、できない事を地方自  
治体が公助として賄って  
いくという意識づけをし  
ていくべきではないか。

**問** 自主防災組織の育成  
で地域防災力を強める。

**答** 隣組を一つの単位と  
位置付けて地域のコミュ  
ニティ力を強化しては。  
**問** 小さな集落単位での  
共助づくりが大事である。



森 茂生

**問** 国民健康保険について

**答** 国民健康保険について  
の受診は10割負担。言い  
換えれば、保険証の取り  
上げのこと。病気になる  
ても病院にすらかかれな  
い状態。資格書発行要件  
は。

**問** 保険税を1年間滞納  
すれば資格書を発行。

**答** 国はこれらの世帯に、  
医療の必要が生じた場合、  
正規の保険証を発行する  
ように言っているので、  
八女市は無条件で保険証  
を発行すべきでは。

**問** 無条件ではなく協議  
に基づき発行する。

銀行ローンは、銀行版サ  
ラ金ビジネス、多重債務  
相談の分類は

**答**

闇金なのか銀行ローンなのか内  
訳は不明



**問** 生活困窮者支援事業につ  
いて

**答** 銀行ローンは、借り  
る窓口は銀行でもそれを  
保証するのは消費者金融  
で、事実上消費者金融が  
ら借りている様なもの。  
その為、銀行のカード  
ローン破産が急増してい  
る。

**問** 市は差押で滞納者を追  
い詰めるのではなく、滞  
納を生活支援のきっかけ  
と捉え、各課が連携して  
相談に乗り一緒に解決し  
ようという市の姿勢が必  
要では。

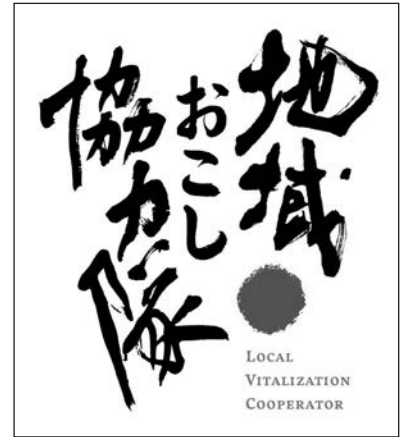
**答** 市内部でそれなりの  
連携は取っているが、研  
修していく必要もある。  
その人達は、税金など  
も滞納している場合が多  
い。

## 地域おこし協力隊の活動と将来についてどう考えているのか

**答** 現在8人の隊員が活動中。定住される努力をしている



田中 栄一



地域の元気は日本の未来だ

- 問** 隊員は募集要項により応募されたと思うが、着任後に現実とのギャップを感じているのでは。問題把握とフォローはどのようしているのか。
- 答** 正確に伝わる要綱の工夫や、採用面接でもきちんと伝えることを心がけている。採用後は関係所属構造でフォローしている。また定例会議で隊員とのコミュニケーションを図っている。
- 問** 関係地域の認知度が低い。隊員の活動状況を周知すべきではないか。
- 答** 市の広報紙・ホームページでの周知と地域のイベント等への出席など心がけている。
- 問** 隊員が地域に定住・定着するために、市独自の企業支援などを実施すべきではないか。
- 答** 国の制度を活用して起業支援している。また地域で雇用できる法人等の立ち上げや企業誘致などを研究していきたい。
- 問** 3年で任期が終わるが任務の継続はどうするのか。
- 答** 集落支援員制度、関係施設への従事、任務に關係する民間企業への就業なども検討している。
- 問** 地域力の維持・強化をどう考えているのか。
- 答** 地域の課題を整理し、市・地元・隊員を含めて検討したい。



松崎 辰義

- 問** 法務省の調査では、平成28年、人権問題全体は1万9445件と減っている。差別待遇事案も687件と減っている。内訳としては、しょうがい者に関するものが286件で、同和問題に関するものは78件と人権問題全体からは、わずかに0.4%である。これが実態で、結婚問題についてもかなり解消されたのではないか。
- 答** 統計によると件数はかなり減っているが、差別が残っていることを認識しておく必要がある。

- 問** 自由同和会の中央本部事務局長は、「今や同和地区にいる関係者はわずか4割。今の若者が結婚する場合は、8割以上が部落以外の方と結婚し、その7割までが結婚に全く反対がなかった」と言っている。これくらい同和問題は解決に近づいている
- 答** 統計の数字に表れない、例えば破談による泣き寝入りを余儀なくされている事実も報告されている。
- その他、災害時における迂回路、環境問題について質問をした。



私たちの未来のために

**答** 期限の定めはないが、差別のない社会を目指している

「部落差別の解消の推進に関する法律」は部落差別の固定化、永久化の危険があるのでは

# 定住化対策は、転出者の流出を抑制する方が重要ではないか



高橋 信広

**答** 就業の場をさらに拡大させることで、流出抑制につなげたい

《直近5年間の人口推移表》 【単位：人】

各年度 3月現在	人口	前年 比差	自然増減			社会増減			転入者数 (區出件数)	結婚 組数
			出生者数	死亡者数	増減	転入者数	転出者数	増減		
平成25年	68,457	-849	441	913	-472	2,306	-94	897	257	2,400
平成26年	67,528	-929	460	954	-494	2,258	-435	876	325	2,693
平成27年	66,773	-755	443	935	-492	2,373	-263	976	279	2,636
平成28年	65,885	-888	453	931	-478	2,452	-410	903	270	2,862
平成29年	65,027	-858	422	956	-534	2,474	-324	988	263	2,798

**八女市環境基本計画に基づく環境対策について**

**問** 経済規模の縮小をどのように緩和していくのか。  
**答** 地域内で生み出される所得を地域内で還元できる経済の好循環を創り出すことが、活性化につながるかと考えている。

**問** 労働力の不足をどのようにカバーしていくのか。  
**答** 女性や高齢者が働きやすい環境を作ること、労働力参加率の向上に努め補っていききたい。

**問** 人口減少対策について

**問** 子どもの貧困対策と連動した学習支援と子ども食堂について

**問** 国の「子ども生活・学習支援事業」を活用し、経済的支援とともに人材確保が必要ではないか。  
**答** 現在、学習支援を実施しているチャイルドサポーターネットワークの補助体制を整えるとともに、寺子屋事業においても協議を行い進めていきたい。

**問** 八女市環境基本条例を制定し、環境問題に対する意識の高揚と解決につなげる必要があるのではないか。  
**答** 近隣市町村では新しい条例をつくった自治体もあり、十分研究して今後議論していきたい。

**問** 食品ロス対策として30・10運動には大いに賛成するが、具体的な取り組みのスケジュールは。

**答** 庁内のほか関係団体、飲食店などに協力を求めながら、来年度の予算にて普及促進を図りたいと考えている。

**問** 今後も行政改革の中で職員数の減少はあるのか。  
**答** 将来的な職員数については、今後検討していきたい。

**問** 将来支所再編成に関する現時点での八女市の考えは。  
**答** 現時点においては支所の再編等については想定していない。

**問** 八女市の文化財、古墳などの維持・保存について

**問** 市内小中学校のエアコンについて、使用料に上限が設定されているのか。



牛島 孝之

**問** 八女市の教育問題について

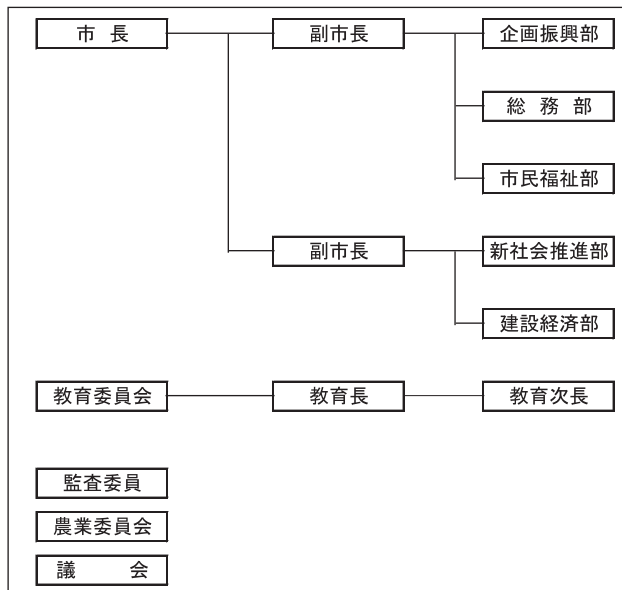
**答** 電気使用量抑制のため、デマンド制御管理を取り入れている。このデマンド制御は設定している負荷を超過すればその負荷を自動的に遮断することで全体の電気使用量を抑制するものである。

**問** 八女市の教育問題について

**答** 引き続き各課の連携強化を図っていくと考えている

**問** 八女市の行政機構に於いて縦割り行政の弊害が目立つが解消法は

**答** 引き続き各課の連携強化を図っていくと考えている



組織機構図

# 白木地区と熊本県和水町に通ずるトンネルと道路はどうなっているのか



樋口 安癸次

**答** 国及び福岡、熊本両県への要望活動に努める

**問** トンネルについて  
白木から和水町に通じる1700メートルのトンネルとそれに通じる道路はどうなっているのか。

**答** 本路線の矢部谷峠は、山間部特有の地形から多数の急カーブを有するとともに、幅員が狭く、大変危険な未改良路線である。八女市と和水町で構成する玉名八女線道路整備促進期成会を通じ、福岡、熊本両県に要望活動を行い、期成会事業としての相互のイベントに参加し、交流を行っている。本年度も地域住民レベルの交流をなお一層進める予定である。

**問** 水門について  
吉田の水門の修理はどうなっているのか。

**答** 水門がある宅間田川は国道3号線から東側約400メートル部分の改修工事が県営農業農村整備事業により計画されている。また、国道3号を横断する豊福川の暗渠部分は国が実施予定の国道3号吉田交差点改良事業で改善が図られる計画である。国、県及び関係機関と連携し、改修について検討を進めていく。



トンネル整備の推進看板

## 請願

9月定例会に提出された「八女市における行政書士法の遵守徹底による窓口業務の適正化に関する請願」は全会一致で採択しました。

### 八女市における行政書士法の遵守徹底による窓口業務の適正化に関する請願(要旨)

請願者 福岡県行政書士会 会長 野田昌利 紹介議員 牛島 孝之  
福岡県行政書士会 八女支部 支部長 武田 忠匡

行政書士は、行政書士の目的である「行政に関する手続の円滑な実施に寄与し、国民の利便に資する」ため、高度な法的知識及び専門知識を身に付けるべく日々の研鑽を重ね業務を行っております。各種許認可・免許・登録申請、届出（具体的には、農地転用・開発申請・用途廃止払下げ申請）等に際し、資格を有しない非行政書士が手続を行っているケースが頻発しております。八女市においては、「行政書士又は行政書士法人でない者は、業として他人の依頼を受け報酬を得て、官公署に提出する書類その他権利義務又は事実証明に関する書類を作成することができない」とする行政書士法第19条第1項及び行政書士制度の趣旨をご理解いただき、不法・不当な書類作成、提出行為及び申請代理行為がなされないよう、行政書士法の趣旨の周知徹底と適正な行政手続が実施されるよう請願いたします。

(1) 行政書士法の遵守徹底と行政書士法違反のない行政手続が行われるような取組を実施すること。

# 決議・意見書

## 北朝鮮による核実験に対し断固抗議する決議(要旨)

北朝鮮は今年に入り、日本の上空を通過する弾道ミサイルを発射するなど国連決議に違反する度重なる暴挙は、我が国をはじめ、アジア・太平洋地域の平和と安全を脅かすものであり、国際社会全体に極めて深刻な危機を及ぼし重大な不安を与える行為は、断じて許すことはできない。

よって、命の尊厳を強く認識し、すべての国のあらゆる核兵器が速やかに廃絶され、一日も早い恒久平和が確立されることを強く願い「非核・恒久平和都市宣言」を決議した八女市議会として、北朝鮮が一切の核実験及び核開発を中止し、直ちにすべての核兵器及び核計画を放棄することを強く求めるとともに断固抗議する。

また、日本政府においては、我が国の平和と安全の確保、国民の安全安心に万全を期し、引き続き国際社会と連携・協力のもと、北朝鮮に対して核兵器の完全放棄、弾道ミサイル開発の中止、拉致問題の早期解決を求めるなど、毅然として措置を講じるよう強く要望する。

以上決議する。

平成29年9月7日

福岡県八女市議会

## 道路整備に必要な予算確保に関する意見書(要旨)

本市では、観光地としての魅力を磨き、交流人口の拡大に向け、豊富な地域資源・地域特性を活かした観光交流拠点の基盤整備を進めています。観光施設・観光資源の回遊による地域経済の活性化を図り、さらに地方創生を進めていくためには、道路ネットワークの整備促進が重要であり、そのためには予算の確保が必要であります。

このままでは、地方創生に全力を挙げて取り組んでいるこの時期に補助率等が低減することは死活問題であるとともに、道路整備の多くに補助事業等を活用する本市において、財政負担の増加をもたらすこととなり、道路整備の一層の遅滞を招き、その影響は重大なものとなってきます。

よって、国におかれては、道路整備に必要な予算の確保に関する下記の事項について強く要望いたします。

記

- 1 地方が必要とする道路整備予算を安定的に確保すること
- 2 道路財特法による補助率等の嵩上げ措置について、平成30年度以降も現行制度を継続すること  
以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出します。

平成29年9月21日

福岡県八女市議会

## 「全国森林環境税」の創設に関する意見書(要旨)

平成29年度税制改正大綱において、「市町村が主体となって実施する森林整備等に必要な財源に充てるため、個人住民税均等割の枠組みの活用を含め都市・地方を通じて国民に等しく負担を求めることを基本とする森林環境税(仮称)の創設」に関し、「平成30年度税制改正において結論を得る」と明記されたことから、森林・林業・山村対策の抜本的強化をはかるための「全国森林環境税」の早期導入を強く求める。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出します。

平成29年9月21日

福岡県八女市議会

### 3 学校訪問及び

## 日向神ダムを調査

〈総務文教常任委員会現地調査〉

7月31日、委員会として毎年行っている学校訪問として今年は①上陽北納学園、②矢部小学校、③矢部中学校の現状と今後の課題を中心に調査を行い、最後に④日向神ダム管理出張所を訪問し、災害時に日向神ダムが市民の安心安全に如何につながっているかを研修した。

まず第1訪問先である上陽北納学園は本年度より県内初の義務教育学校としてスタート。小中一貫校としては平成21年度より開校しているが、平

成24年度より施設一体型の小中一貫校として完全に統合し今日に至っている。現状は一つの学園の子ども達が9年間を通して全体的に学力が向上しているという状況である。中1ギャップもなくスムーズに学習面、生活面においても成果が表れている。義務教育学校は本来小学校と中学校の免許を併有していることが原則であるが、福岡県では併有している教員が少ないという課題がある。

から6年生は複式学級である。地域の方は将来義務教育学校への移行を希望し協議中である。これは第3訪問先の矢部中学校も同様であるが矢部村に学校を残したいという強い思いがあるようだ。

日向神ダム管理出張所では、日向神ダムは洪水調節機能等を目的として設置されたダムで、平成24年の豪雨時は洪水防止に大きな役割を果たしたとの説明を受けた。

### 手にとり読んでいただく

## 「議会だより」へ

〈議会だより編集委員会研修報告〉

議会だより編集委員会では、分かりやすく充実した内容で「手に取り読んでもらえる議会だより」をお届けしたいと、先進地である広島県三原市と廿日市市議会を10月2日～3日にかけて視察研修した。

広島市東部に位置する三原市は、人口10万6千人、面積471km<sup>2</sup>の小早川隆景公の城下町である。議会だよりの発行は、広報広聴委員会が所管され、発行部数は各号3万9千400部である。

特徴は、裏表紙全面を使って、「わがまちに望む夢」と題し、三原の未来を担う子ども達の声をシリーズで紹介している。子ども達の声を紙面に掲載することで「手に取り読んでもらえる議会だより」を目指している。

安芸の宮島を要する廿日市市は、人口11万5千人、面積489km<sup>2</sup>の街である。

議会だよりの発行は、広報広聴特別委員会が所管され、発行部数は各号4万9千435部である。

旧廿日市市では議会での単独発行されていたが、平成15年の合併を機に創刊された。現在まで54号を発行、その間、様々な紙面改革を行い、「手に取り読んでもらえる議会だより」を目指している。

### 八女市にどう生かす

議会だよりの使命は、議会活動をいかに分かりやすく伝えるかである。

そのためには手に取ってもらわなければならない。今後紙面の充実と改革を進め、多くの皆さまに読んでいただく努力をしていく。



①上陽北納学園



②矢部小学校



④日向神ダム管理出張所



③矢部中学校



廿日市市議会での研修



三原市議会での研修

# おぶせ 長野県小布施町、塩尻市を調査

建設経済常任委員会 8月1日～3日

## 景観修復による町並みづくり～小布施町



小布施町で説明を受ける委員



修景地区内の栗の小径

小布施町は長野県の北部に位置し、人口約1万人、面積19.07km<sup>2</sup>である。町役場を中心とした半径2kmの円内にほとんどの集落が入る、県内で一番小さな町である。「栗と北斎と花の町」として全国的に注目され、人口の100倍に当たる年間120万人の観光客が訪れている。浮世絵師・葛飾北斎の作品展示を目的

に建設した「北斎館」を核に、民間主導による修景の町並みが整備されている。修景地区は、「外はみんなのもの、内は自分たちのもの」という住民意識による、町を愛する心、おもてなしの心が徹底していて、散策に訪れる人々を魅了している。

塩尻市は長野県中央部に位置し、人口約6万7千人、面積290.18km<sup>2</sup>である。

農業は市の基幹産業であり、野菜は、レタスを中心に豊富な種類が栽培されている。果樹では、ブドウ・ナシ・リンゴなどの栽培が盛んである。

今回調査した鳥獣被害対策は、市が運営している情報通信技術網を活用したもので、感知器が反応することにより光を点滅させての追い払いや、出没や罠の捕獲を感知し、登録者の携帯電話へ通知するという仕組みである。この対策により、関係者の迅速な対応が可能となり、実施した地域では、取組後二年間で被害を完全に防止できたことである。

## 情報通信技術網を活用した

## 鳥獣被害対策～塩尻市

データの見える化  
(情報収集・情報蓄積)



## 八女市にどう生かす

小布施のまちづくりは、奇跡と呼ばれている。

「まちづくりは暮らしづくり」の理念のもと、そこに住む人々の思いを大切にして、快適に暮らし続けられる修景による地域整備が、住民の徹底した協議を経て、町との協働で実施されている。本市でも、まちづくりに対する住民意識の醸成をはかり、修景という手法での地域づくりを十分に研究する必要があると考えます。鳥獣被害に対しては、捕獲し続けることで絶対数を減らしていくことが必須である。現在、関係者の協力のもと、現状で考えられる対策は講じていると評価している。

今後、農林業の振興はもとより、市民生活の安全を確保するためにも様々な情報を積極的に収集し、更なる有効な対策の研究が急務であると考えます。



# 議会報告会を開催します

この議会報告会は、市民のみなさんと議員が自由に情報や意見を交換することで、議会の活動状況や結果を知ってもらうとともに、議会活動等に対するご意見、提言により議会活動を活性化させ、今後のよりよいまちづくりに活かしていくため開催するものです。

どなたでも参加できますので、ご都合のよい会場へお気軽にお越しください。

地区名		月日	開始時間	会場	担当
矢部	矢部	11月7日(火)	19:00	矢部公民館	3班
黒木	黒木	11月15日(水)	19:00	黒木支所 大会議室	1班
	豊岡				
	串毛				
	木屋				
	笠原				
大淵					
上陽	上陽	11月16日(木)	19:00	上陽公民館	1班
立花	光友	11月18日(土)	19:00	立花市民センター イベントホール	1班
	辺春				
	北山				
	白木				
旧八女西部	福島	11月21日(火)	19:00	おりなす八女 はちひめホール	2班
	三河				
	八幡				
	岡山				
旧八女東部	長峰	11月22日(水)	19:00	おりなす八女 はちひめホール	3班
	上妻				
	川崎				
	忠見				
星野	星野	11月24日(金)	19:00	星野支所 大集会室	2班

## 班名簿

1班	2班	3班
◎高橋 信広 (厚生)	◎松崎 辰義 (建設経済)	◎井本 政弘 (厚生)
○牛島 孝之 (総務文教)	○服部 良一 (総務文教)	○田中 栄一 (厚生)
樋口安次 (建設経済)	吉田 達志 (建設経済)	井上 賢治 (総務文教)
森 茂生 (総務文教)	中島 信二 (総務文教)	栗山 徹雄 (建設経済)
三角 真弓 (厚生)	角田 恵一 (厚生)	中島 富定 (建設経済)
樋口 良夫 (厚生)	萩尾 洋 (厚生)	寺尾 高良 (総務文教)
栗原 吉平 (総務文教)	伊井 渡 (厚生)	大坪久美子 (総務文教)
石橋 義博 (建設経済)	橋本 正敏 (建設経済)	小川 栄一 (厚生)
堤 康幸 (建設経済)		

◎：班長    ○：副班長    カッコ内は常任委員会を記載

# 9月定例会で審議した議案の結果と賛否

報告第7号	専決処分について（事故による損害賠償）	報告
報告第8号	専決処分について（事故による損害賠償）	報告
報告第9号	株式会社 クリエイトやべの平成28年度決算及び平成29年度事業の計画の報告について	報告
報告第10号	一般財団法人 星のふるさとの平成28年度決算及び平成29年度事業の計画の報告について	報告
報告第11号	一般財団法人 秘境柚の里の平成28年度決算及び平成29年度事業の計画の報告について	報告
報告第12号	一般財団法人 FM八女の平成28年度決算及び平成29年度事業の計画の報告について	報告
報告第13号	平成28年度八女市健全化判断比率及び資金不足比率の報告について	報告
議案第82号	八女市矢部地区山村滞在施設条例の制定について	可決
議案第83号	平成29年度八女市一般会計補正予算（第2号）	可決
議案第84号	平成29年度八女市介護保険事業費特別会計補正予算（第1号）	可決
議案第85号	市道路線の変更について	可決
認定第1号	平成28年度八女市各会計歳入歳出決算認定について	認定
認定第2号	平成28年度八女市水道事業会計決算認定について	認定
請願第5号	八女市における行政書士法の遵守徹底による窓口業務の適正化に関する請願	採択
議員提出議案第2号	北朝鮮による核実験に対し断固抗議する決議	可決
委員会提出議案第5号	道路整備に必要な予算確保に関する意見書	可決
議員提出議案第3号	「全国森林環境税」の創設に関する意見書	可決

○賛成 ●反対 欠 欠席

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	
	大坪久美子	橋本正敏	田中栄一	堤康幸	高橋信広	小川栄一	石橋義博	伊井渡	牛島孝之	萩尾洋	角田恵一	服部良一	中島信二	吉田達志	寺尾高良	栗原吉平	樋口良夫	三角真弓	井本政弘	中島富定	森茂生	栗山徹雄	井上賢治	松崎辰義	樋口安次	川口誠二	
報告第7号																											
報告第8号																											
報告第9号																											
報告第10号	報告事項のため採決はありません																										
報告第11号																											
報告第12号																											
報告第13号																											
議案第82号	○	○	○	○	○	○	○	欠	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○
議案第83号	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○
議案第84号	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠
議案第85号	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第1号	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第2号	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
請願第5号	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議員提出議案第2号	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠
委員会提出議案第5号	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議員提出議案第3号	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

議長職のため採決には加わりません

# 高校生と意見交換 提言に高校生の若い感性が光る



参加者全員での集合写真

八女青年会議所で企画された「<sup>アンダー</sup>U-18まちづくり総選挙」(市民との協働によるまちづくり提案事業)に出場した高校生と市議会議員との意見交換が、10月7日立花庁舎3階議場で開催されま

した。八女の将来を担う市内5校の高校生が「八女市の人口減少と市外流出を防ぐ」をテーマに、2月から現状調査、問題と課題の洗い出し、原因の分析、そして解決策の提言

をまとめ、9月9日に「おりなす八女」で行われた「U-18まちづくり総選挙」で発表された中から、見事優勝した八女学院高校の提言を中心に、質疑応答・意見交換を行いました。

各学校の様々なアイデアが盛り込まれた提言は、若い感性に満ち溢れ素晴らしいものでした。以下、紙面の都合上、質疑応答、意見交換は掲載せず、提言のみ掲載します。

**八女学院高校の提言**  
3世代が暮らせる環境を充実し、観光客の誘致を進めるために次の4つの視点で政策提言。  
① 10〜20歳代  
「放課後・休日の充実」  
・商店街に自習室確保  
・寺子屋交流館の開設  
② 30〜50歳代

「働く場・余暇を満喫する場の確保」  
・リゾートホテル建設  
・道の駅、川の駅、山の駅の活用  
・まちづくり団体の取組み推進  
③ 60歳代以上  
「コミュニケーションをとれる場の創設」  
・老齢層の外出促進  
・活躍の場づくり  
④ 観光  
「観光客の誘致を進める」  
・CM、アニメ制作  
・交通インフラ整備  
・パワースポット開拓

**福島高校の提言**  
インバウンドによる観光産業の振興を図る。  
・日帰り観光から滞在型観光へ  
・農業民泊、古民家再生による宿泊施設の整備  
・外国人観光客への観光ガイド

**西短大付属高校の提言**  
市内に大学・専門学校などの教育施設の設立と補助制度の充実拡大を図る。

・八女市の良さを外部発信  
・キーマンは高校生。「広報八女」の高校生版作成  
・八女農業高校の提言  
住宅施設整備による八女市のベッドタウン化を図る。  
・住宅制度の充実(空家バンクの活用)  
・若者応援制度(子育てから子どもの自立までのサイクル応援)



輝翔館中等教育学校が考案したゆるキャラ「お茶娘」

ちやめ お茶娘のプロフィール	
性別	女の子
出身地	八女市
誕生日	8月9日
特技	利き茶
特徴	語尾には、「～ちやめ」 性格は、おとなしいけど、、、毒舌(仮)

輝翔館中等教育学校  
観光客を増やす!・道の駅の活性化。  
・撮影スポットをつくる。  
・「ゆるキャラ」のPRと新しいゆるキャラの創作。

輝翔館が考案した「ゆるキャラ」の紹介と使用の提案がありました。どんどん使っていただいて八女市のPRになればとのこと。

# インターネットで議会中継

八女市議会

検索

インターネットから議会の様子を生中継でご覧になれます。録画中継も生中継終了後3日程度(土・日及び祝祭日を除く)で見ることができます。会議名や議員名、用語でも検索できますので、ぜひご覧ください。

<http://www.city.yame.fukuoka.jp/>



## 議会を傍聴してみませんか?

市政の動向を知るには、議会を傍聴するのが一番です。議員と市執行部とのやりとりを直接ご覧になってみてはいかがでしょうか。事前予約はいりません。

どなたでも傍聴できますので、ぜひお越しください。

日程など、詳しいことは議会事務局へお問い合わせください。

TEL 0943-23-4922

FAX 0943-23-4929

E-mail [yame\\_city\\_gikai@city.yame.lg.jp](mailto:yame_city_gikai@city.yame.lg.jp)



議会を傍聴されたみなさんの声を一部ご紹介します。

(原文のまま記載)

- 八女市政発展のため、みなさん頑張って下さい。(40歳代・男性)
- 議員の質問に対し具体策案が提示されず、抽象的な答弁が多い。(男性)
- もう少しボリュームを上げられないか、あまり聞こえなかった。(70歳代)
- 記者席にしか机がないけど、机があれば助かる。(60歳代・女性)
- 大変勉強になりました。ありがとうございました。(70歳代・女性)

## 次回定例会 11月29日(水)予定 立花庁舎議場 午前10時

私が小さい頃、祖母に聞いたことがありました。聞いただけです。八女市は、結婚サポートセンターに委託し、婚活事業にも補助しています。将来私たちは子どもたちにおんぶされると思うと胸が痛みます。

当時は65歳以上の高齢者人口は、全体の5%未満でした。昭和60年に10%、20年後の平成17年に20%、その8年後の平成25年に25%になりました。日本の四人に一人が高齢者です。平成47年には三人に一人が高齢者になるといつ見込みが総務省から出されています。

福岡県の未婚率が、男性で22%、女性で16%あるそうです。あるアンケートで20代から40代の未婚男女の約7割が結婚したいと思っているにもかかわらず、婚活・婚活は約2割の人しかしていないそうです。

## 編集後記



私が小さい頃、祖母に聞いたことがありました。聞いただけです。八女市は、結婚サポートセンターに委託し、婚活事業にも補助しています。将来私たちは子どもたちにおんぶされると思うと胸が痛みます。

子どもが多かっただけで、やれをあんぶして子守をしよつた。

当時は65歳以上の高齢者人口は、全体の5%未満でした。昭和60年に10%、20年後の平成17年に20%、その8年後の平成25年に25%になりました。日本の四人に一人が高齢者です。平成47年には三人に一人が高齢者になるといつ見込みが総務省から出されています。

子育て支援、医療、福祉、インフラ整備等々課題は山積です。三田村市長の早期復帰を願うばかりです。

橋本 正敏

発行責任者

議長 川口 誠二

議会だより編集委員会

委員長 田中 栄一  
副委員長 堤 康幸

委員 松崎 辰義  
委員 大坪 久美子

委員 中島 信二  
委員 服部 良一

委員 伊部 渡  
委員 高橋 信広

委員 橋本 正敏

